

2018年7月25日（水）高校生がOHK制作部へインタビュー取材

今月25日、岡山市立岡山後楽館高等学校1年生の3人がOHK制作部へインタビュー取材をするためミルンを訪れました。後楽館高校では「産業社会と人間」という授業で、興味のある職種を取り上げ、その仕事に就いている人にインタビューを行い、レポートにまとめて互いに報告しあうという学習に取り組んでいます。今回制作部に取材に訪れたのは、1年生の有友修治さん、伊藤匠さん、柿本伊織さんの3人で、当日はスタジオで「ミルンヘカモン！なんしょん？」の生放送の様子や放送中にスタジオに指示を出しているスタジオサブなどを見学し、淵本アナウンサーと制作部3年目で「なんしょん？」を担当している谷本ディレクターにインタビューを行いました。インタビューでは、テレビは大勢の人に情報を伝えることができるけれど、だからこそ間違った情報を出さないことに気を付けているということ、また、ディレクターはできるだけ新しい色々な情報を知ることが大切で、日頃から様々な話題にアンテナを張って情報を収集するよう心掛けていることなどをメモを取りながら一生懸命聞き取っていました。今回学んだことを将来どんな職業に就くか考えるときに少しでも役立ててもらえたら嬉しいです。

